

本番機と予備機で利用できるマシンの制限について

対応バージョン

バージョン共通

概要

本番機と予備機は、同一の H/W 構成を推奨します。

同一の H/W 構成とは、以下のものを含みます。

- H/W の型番
- CPU 数
- メモリ容量
- ハードディスク
- オプションボードの搭載/設定状況

マシンスペックの違いによる影響

マシンスペックの差異に関しては、以下の点に注意してください。

HW 構成の違い		影響内容
CPU	CPU クロック	性能の違いによるシステムへの影響が考えられます。
	CPU 数	ご使用のソフトウェアによっては、一定量を超えると異なるライセンス (エンタープライズ等)が必要となる場合があります注意が必要です。
	CPU 種類(Uni/Multi)	インストールされている OS/アプリケーション上での影響が発生する可能性があります。
メモリ	メモリクロック	性能の違いによるシステムへの影響が考えられます。
	メモリ容量	OS で仮想メモリサイズの設定を行うため、物理メモリ容量の変更があった場合、仮想メモリに関連した動作への影響が考えられます。
ハードディスク		基本は同容量ディスクのみのサポートとなります。また、インタフェース規格と RAID 構成、物理セクターのサイズも一致させてください。 リストア不可やリストア後にソフトウェア(OS やアプリケーション等)が正常に動作しないといった影響がでる可能性があります。 なお、バックアップ時よりも小さい容量のディスクへリストアを行なうとエラーが発生しますが、大きい容量のディスクへはリストア可能です。
I/O(標準ネットワーク/オプションボード等)		ネットワーク経由での他の機器との接続に影響がでる可能性があります。

型番の違いによる影響

以下の同一モデル/同一グループ内の型番同士であれば本番機と予備機で異なる H/W 型番でも動作可能です。

異なる型番同士で本番機/予備機を構成する場合の注意事項は以下の通りです。

- 差異が許容されるのは同一モデル/同一グループに属する H/W 型番のみであり、その他の H/W 構成は一致している必要があります。
- 本番機/予備機にバンドルされている ESMPRO のバージョンが異なる場合、新しいバージョンの ESMPRO をインストールしておく必要があります。

- 本番機/予備機でマシンスペックに差異がある場合には、事前に十分検証してください。

また、同一型番、同一 H/W 構成の場合でも、OS が Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2 の利用において、N+1 リカバリ実行時に切り替え後に NIC が別デバイスとして認識されることがあります。後述の「注意事項」を参照してください。

異なる型番同士で本番機/予備機を構成する場合の例

本番機:N8400-117 ←→ 予備機:N8400-121 は OK (同一グループに属するため)

本番機:N8400-113 ←→ 予備機:N8400-110 は NG (異なるグループに属するため)

本番機:N8400-117 ←→ 予備機:N8400-110 は NG (異なるモデルであるため)

<モデル/グループ一覧>

Express5800/B120g-h	
グループ 1	N8400-255Y (22C/E5-2699v4)
グループ 2	N8400-254Y (20C/E5-2698v4)
グループ 3	N8400-253Y (14C/E5-2690v4)
グループ 4	N8400-251Y (12C/E5-2650v4)
グループ 5	N8400-252Y (8C/E5-2667v4)
	N8400-250Y (8C/E5-2620v4)

Express5800/B120f-h	
グループ 1	N8400-246Y (18C/E5-2699v3)
グループ 2	N8400-245Y (16C/E5-2698v3)
グループ 3	N8400-244Y (14C/E5-2697v3)
グループ 4	N8400-242Y (12C/E5-2690v3)
グループ 5	N8400-241Y (10C/E5-2660v3)
グループ 6	N8400-240Y (8C/E5-2640v3)
	N8400-247Y (8C/E5-2667v3)

Express5800/B120f	
グループ 1	N8400-236Y (16C/E5-2698v3)
グループ 2	N8400-234Y (12C/E5-2690v3)
グループ 3	N8400-233Y (10C/E5-2660v3)
グループ 4	N8400-232Y (8C/E5-2640v3)
	N8400-231Y (8C/E5-2630Lv3)
グループ 5	N8400-230Y (6C/E5-2609v3)

Express5800/B120e-h	
グループ 1	N8400-215Y(12C/E5-2697v2)
グループ 2	N8400-216Y(10C/E5-2690v2)
	N8400-217Y(10C/E5-2670v2)
	N8400-218Y(10C/E5-2650Lv2)
グループ 3	N8400-219Y(8C/E5-2650v2)
グループ 4	N8400-220Y(6C/E5-2630v2)

Express5800/B120e	
グループ 1	N8400-221Y(10C/E5-2470v2)
グループ 2	N8400-222Y(8C/E5-2450v2)
グループ 3	N8400-223Y(6C/E5-2430v2)
	N8400-224Y(6C/E5-2430Lv2)
グループ 4	N8400-225Y(4C/E5-2403v2)

Express5800/B120d	
グループ 1	N8400-131Y(8C/E5-2470)
	N8400-132Y(8C/E5-2450)
グループ 2	N8400-133Y(6C/E5-2430)
	N8400-134Y(6C/E5-2430L)
グループ 3	N8400-135Y(4C/E5-2403)

Express5800/B110d	
グループ 1	N8400-137Y(2C/1403)

Express5800/B120b-Lw(Intel 55xx)	
グループ 1	N8400-098(4C/L5520)

Express5800/B120b-Lw(Intel 56xx)	
グループ 1	N8400-097(4C/L5630)
グループ 2	N8400-096(6C/L5640)

Express5800/B120b-h	
グループ 1	N8400-104(4C/L5630)
グループ 2	N8400-099(6C/X5680)
	N8400-100(6C/X5650)
	N8400-102(6C/E5645)
	N8400-103(6C/L5640)

Express5800/B120b	
グループ 1	N8400-113(4C/E5606)
グループ 2	N8400-110(6C/X5670)
	N8400-111(6C/X5650)
	N8400-112(6C/E5645)
	N8400-114(6C/L5640)

Express5800/B120b-d	
グループ 1	N8400-117(6C/X5670)
	N8400-121(6C/L5640)

Express5800/B120a	
グループ 1	N8400-083(2C/E5502)
グループ 2	N8400-081(4C/X5570)
	N8400-082(4C/E5504)
	N8400-084(4C/X5550)
	N8400-085(4C/L5520)

Express5800/B120a-d	
グループ 1	N8400-088(2C/E5502)
グループ 2	N8400-086(4C/X5570)
	N8400-087(4C/E5504)
	N8400-089(4C/X5550)
	N8400-090(4C/L5520)

Express5800/120Bb-6	
グループ 1	N8400-029(XD2/3G(4))
	N8400-030(XD2/1.6G(4))
	N8400-031(XD2/2G(4))
	N8400-032(XD2/L2.33G(4))
グループ 2	N8400-050(XD2/3G(4))
	N8400-051(XD2/1.6G(4))
	N8400-052(XD2/2G(4))
	N8400-053(XD2/L2.33G(4))
	N8400-060(XD/3.33G(6))
	N8400-062(XD/1.86G(6))
	N8400-053A(XD/L2.33G(4))
	N8400-060A(XD/3.33G(6))
グループ 3	N8400-062A(XD/1.86G(6))
	N8400-033(XQ/2.66G(2x4))
	N8400-037(XQ/2.33G(2x4))
	N8400-057(XQ/3.16G(2x6))
	N8400-059(XQ/2G(2x6))
	N8400-057A(XQ/3.16G(2x6))
	N8400-058A(XQ/L2.50G(2x6))
グループ 3	N8400-059A(XQ/2G(2x6))

Express5800/120Bb-d6	
グループ 1	N8400-040(XD2/2G(4))
	N8400-067(XD/3.33G(6))
	N8400-067A(XD/3.33G(6))
	N8400-091(XD/1.86G(6))
グループ 2	N8400-042(XQ/2.66G(2x4))
	N8400-043(XQ/2.33G(2x4))
	N8400-064(XQ/3.16G(2x6))
	N8400-066(XQ/2G(2x6))
	N8400-064A(XQ/3.16G(2x6))
	N8400-065A(XQ/L2.50G(2x6))
	N8400-066A(XQ/2G(2x6))

Express5800/120Bb-m6	
グループ 1	N8400-046(XD2/2G(4))
	N8400-074(XD/3.33G(6))
グループ 2	N8400-048(XQ/2.66G(2x4))
	N8400-049(XQ/2.33G(2x4))
	N8400-071(XQ/3.16G(2x6))
	N8400-073(XQ/2G(2x6))
グループ 3	N8400-074A(XD/3.33G(6))
	N8400-092(XD/1.86G(6))
グループ 4	N8400-071A(XQ/3.16G(2x6))
	N8400-072A(XQ/L2.50G(2x6))
	N8400-073A(XQ/2G(2x6))

Express5800/140Ba-10	
グループ 1	N8400-055(XMPD/2.93G(2x4))
グループ 2	N8400-054(XMPQ/2.4G(2x4))

Express5800/B140a-T	
グループ 1	N8400-055A(2C/E7220)
グループ 2	N8400-078(4C/E7310)
グループ 3	N8400-079(6C/E7450)

注意事項

- ・同一型番の構成にて Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 上で、切り替え後、NIC が別デバイスとして認識される。

本番機と予備機が同一型番、同一 H/W 構成の利用において、N+1 リカバリ実行による切り替え後 NIC が別の(新しい)デバイスとして認識され、切り替え前の NIC の設定が引き継がれない場合があります。OS は Windows Server 2008、または Windows Server 2008 R2 の場合のみ発生し、その他の OS では発生しません。

対象 OS の場合に、N+1 リカバリ実行後 NIC の設定が引き継がれるかどうかは、下記＜確認方法＞により確認可能です。N+1 リカバリ実行後に NIC が別のデバイスとして認識され、設定が引き継がれない場合、これを回避するためには、Microsoft 社よりリリースされている以下の修正プログラムの適用が必要です。

- ・Windows Server 2008 (SP2) の場合

<https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/2710558>

- ・Windows Server 2008 R2 の場合

<https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/2344941>

- ・Windows Server 2008 R2 (SP1) の場合

<https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/2550978>

<確認方法>

NIC が対象 OS から別のデバイスとして認識されるかどうかは、以下の手順にて確認可能です。

「デバイスマネージャ」のネットワークアダプターの中から確認対象の NIC のプロパティを開き、「詳細」タブのプロパティ(P)のプルダウンから「デバイス インスタンス パス」を選択します。

次の例のように「デバイス インスタンス パス」の文字列末尾に MAC アドレスが含まれる場合は、本問題に該当するため、N+1 リカバリ実施後 NIC の設定が引き継がれません。

例)

現象発生時の「デバイス インスタンス パス」:

PCI\VEN_14E4&DEV_1657&SUBSYS_80541BCF&REV_01\0000448A5BDC72B203

現象が発生しない場合の「デバイス インスタンス パス」:

PCI\VEN_14E4&DEV_1656&SUBSYS_80631BCF&REV_10\4&1D15C77&0&011B

MAC アドレスが含まれる

MAC アドレスが含まれない

上記に該当し、問題修正プログラムを未適用の場合は Microsoft 社情報をご参照のうえご対応をお願いします。

更新日:2016/05/18